

安 全 報 告 書

(2010～2011シーズン)

大仙市営協和スキー場

1. 利用者の皆様へ

東日本大震災で被災されました皆様方には、心からお見舞い申し上げます。当市の索道事業に対して、多数のご利用いただき誠にありがとうございます。今シーズンはリニューアルして2年目として繁栄と無事故を祈念とし、そして事故もなく営業を終了する事が出来ました。これもひとえにご利用される皆様のご協力によるものであります。心から感謝申し上げます。本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送安全確保のための実態ならびに取組についてまとめ、広くご理解いただくために公表するものです。

10～11シーズンの安全管理体制のもと、適正な業務がなされているか、改善するべき点はないか検証し、来シーズンの計画・実施に向けて、皆様のご意見を安全輸送に役立てたいと思いますので、この報告に対する皆様のご意見をくださるようお願い申し上げます。

大仙市営協和スキー場

大仙市長 栗林 次美

1 基本方針と理念「安全」

市長及び役職員は、安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、索道施設および職員を総合活用して輸送の安全を確保するための管理の方針と、その他事業に関する基本的な方針を具体的に定めるものとする。

また、管理方針および基本的な方針は必要に応じて見直すものとする。

当市の理念は「安全第一」の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めます。

2 市長・役職及び職員（職員に準ずる者を含む）（以下、「職員等」という。）の安全に係る行動範囲（安全の基本理念）は次のとおりとする。

- (1) 一致団結して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（運転細則・整備細則・安全か理規程等）職員等に周知するとともによく理解させ、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

3. 事故の発生状況と再発防止措置

(1) 索道運転事故 (索道人身障害事故)

平成22年度において索道運転事故(索道人身障害事故)の発生事故はありません。

ただし、前年度有りましたので停留所での乗客(行動)監視、停止した場合の連絡方法の確認及び各停留所の「切る・連絡・確認・指示」の基本事項について指導と確認を行っている。

(2) 災害 (地震、暴風雨、豪雪等)

災害はありません

強風によるリフト運転はありません

(3) 行政指導はありません

(4) ゲレンデ内の傷害事故等

NO	住 所	年齢	性別	スキー・ボード	時 間	創傷部位	場 所
1	潟上市	22	女	ボード	14:30	左膝靭帯損傷	ロマンス
2	秋田市	47	男	スキー	15:35	上半身打撲	セミアルペン
3	秋田市	70	男	スキー	10:30	顔面強打脳震	セミアルペン
4	秋田市	46	男	スキー	10:50	左膝関節捻挫	ファミリー
5	秋田市	20	男	ボード	10:30	左手首骨折	クイーン
6	秋田市	20	男	ボード	10:30	右片脱臼	ロマンス上部
7	秋田市	20	男	ボード	11:00	腰強打骨折	デモバーン
8	秋田市	23	男	ボード	10:40	顔面擦り傷	デモバーン

	性 別		創 傷 類 別						計
	男	女	骨折	脱臼	捻挫	切傷	打撲	その他	
スキー	3	0	0	0	1	0	2	0	3
ボード	4	1	2	1	1	0	0	1	5
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	1	2	1	2	0	2	1	8

4. 安全確保のための取組み

来場された全てのお客様の安全を確保することは、スキー場に従事するすべての職員が、この責任の重さを認識し、管理運営の任にあたる必要があります。

当市においては、スキー場に従事する職員の多くが冬期間の臨時職員であるため、第一にスキー場の職員として守るべき規範を教育することが重要と考えています。

そのうえで、お客様への対応の訓練や索道施設の運転にかかわる訓練を2日間において行い、索道施設を始めゲレンデから駐車場まで含めたスキー場内を毎日の見回りや

そして始業点検を徹底して行い、「お客様の安全第一」に確保します。また緊急時に備え、スイッチを「切る・連絡・確認・指示」の報告の方法を明確にし、全職員が対応できる能力を身につけるように訓練し取り組んでおります。

- 東北索道協会秋田地区部会技術研修会
4名 技術管理者 技術管理員
- S B B 認定整備技術セミナー
1名 職員
- 索道技術管理者研修会
1名 技術管理者
- 圧雪車講習会
1名 技術者
- 大仙市営協和スキー場従事者研修会
21名 2日間 統括管理者 技術管理者 技術管理員
従事者
- ヒヤリ・ハットはありませんでした。

期間を通して毎朝、運営ミーティングを行い、終了時にも結果報告ミーティングを行い、次の日の団体来場予定数等を報告します。

11年 1/1～3/6

第1ペアリフト 乗車人数 106,469人

第2ペアリフト 乗車人数 147,124人

(1) 人材教育

当市では、輸送の安全に役立つよう、各安全研修会に積極的に参加しシーズン営業開始前に索道施設の取扱いの安全教育を徹底的に行なっております。

(2) 緊急時対応訓練

シーズン前、シーズン中においても各リフト従事者独自に救助訓練を施行している。

利用者の皆様へのお願い

リフト乗車時の注意事項

- リフト乗車に不安な方は係員に申し出ください。
- 乗れなかったら直ちにリフトから離れてください。
- 衣服やヒモ類にも注意してください。
- ボーダーは流れ止めをつけハイバックをたたんでください。
- 乗っている時は、次のことは行なわないでください。
 - イ. イスを揺らすこと
 - ロ. イスから飛降りること
 - ハ. イスの上でふざけたり、後ろを向いたりすること
 - ニ. ストック等で柱などにさわること
- リフトが停止しても飛降りほしないでください

禁止事項

- 指定コース以外の立ち入り禁止区域への進入
- コースの中を靴足のままで歩くこと
- ゲレンデ内にペット等を放すこと
- アルコールや薬物又はその他により、心身が正常でない状態での入場

上記以外においても係員の指示に従ってください。

連絡先

安全報告書のご感想、当市の安全に関する取組に対するご意見をお寄せください。

〒 019-2401

秋田県大仙市協和船岡字上庄内71-1

大仙市営協和スキー場

TEL 018-893-2050

FAX 018-893-2050